

令和3年度 第1回旭川市社会教育委員会議 議事録

日 時	令和3年7月2日(金) 午後4時00分～午後5時30分
場 所	旭川市神楽公民館 第1学習室
出席者(委員)	荒木閑委員, 工藤(瀧)委員, 工藤(友)委員, 小林委員, 佐藤委員, 鈴木委員, 千葉委員, 中村委員, 仁木委員, 濱中委員
出席者(職員)	黒蕨教育長, 高田社会教育部長, 岩崎社会教育部次長, 吉田社会教育部次長, 高桑文化振興課長, 林文化ホール担当課長, 片山公民館事業課長, 西野中央図書館長, 石原博物館長, 小島社会教育課主幹, 川瀬社会教育課主査, 伊藤社会教育課職員
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
会議資料	会議次第 令和3年度 教育行政方針 社会教育部予算説明資料 社会教育部事業説明資料 資料1 令和2年度旭川市社会基本計画点検・評価報告書(原案) 資料2 地域学校協働活動について 資料3 旭川市公民館の位置付けの見直しに関する検討の進捗状況

会議要旨

1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) 副議長の選出について

議長	副議長に濱中氏を提案し, 了承される。
----	---------------------

(2) 令和2年度 旭川市社会教育基本計画 点検・評価について

議長	議事(2)について事務局から説明願う。
事務局	(資料1に基づき説明)
議長	資料の量が膨大なので, 基本目標ごとに質問・意見をお願いする。 まず, 基本目標1「市民一人一人の主体的な学びの機会の充実」に関して, 発言願う。

委員	基本目標1に関わらず全体に関してであるが、成果指標の目標値について、コロナ禍で目標値の達成状況が未達成になるのは当たり前だと思う。このままの目標値であれば、令和3年度も正しく評価することができないのではないか。目標値の見直しは考えているか。
社会教育課長	成果指標については課題だと認識しているので、見直しについて検討していく。
議長	コロナ禍では、今後の見通しを立てるのが難しくなっている。成果指標については、従来どおりに事業を実施する場合とそうでない場合に分けて設定するなど、先を見通した対応が必要ではないか。 このことについて、ほかに何かあるか。
委員	成果指標の見直しは良い案であるが、目標値はこれまでの実績等を踏まえて設定されていると思うので、目標値を下げるのは難しいのではないかと。重要なのは、コロナ禍でどのような新しい取組にチャレンジしたのかである。コロナの状況に関わらず、その取組が市民にとって参加しやすく有意義なものであれば、今後も同様に開催することを検討して欲しい。
議長	そのほかに意見があるか。
委員	ジオパーク認定を目指すことについて、過去の社会教育委員会会議で、地域の重複により目指すのが難しいという話が出たが、解決しているのか。
社会教育課長	大雪山カムイミントラジオパーク構想として、旭川は近隣6町(鷹栖町、比布町、愛別町、上川町、東川町、東神楽町)の広域でジオパーク認定を目指しているところであり、地域の重複はないので、問題はない。 あくまでもジオパークは活動の一環であり、認定されることが最終目的ではない。まずは、地域資源の魅力を広めていこうというのが事務局としての考え方である。
議長	このことについて何かあるか。 なければ、基本目標2「市民の学びを支える環境の整備」について、質問等、発言願う。
議長	ないようなので、私から質問する。 コロナ禍で、科学館ではオンラインによる講座を開催したとあるが、その成果をどのように捉えているか。
科学館館長	科学館には顧問の先生が3人おり、その中の一人である人類学の馬場先生にオンラインによる講演を依頼した。先生は東京からリモートで講義し、受講者は科学館に来場してもらい、スクリーンにつないで開催した。来場者にアンケート等は実施していないが、感染リスクを抑えられた形での開催となったため、喜んでもらえたと考えている。
議長	受講者にアンケートは実施しなかったのか。
科学館館長	実施しなかったため、受講者からの意見等は聞いていない。
議長	このような状況下では、受講者の声を聞くことが重要である。新たな評価材料につながるのではないかと。
科学館館長	今回は、アンケートを実施して参加者の声を聞くこととする。
議長	そのほかになければ、基本目標3「地域における学びの循環」について、質問等、発言願う。

議長	<p>また私から質問であるが、各施設のボランティアは横ばいまたは減少傾向にあると書かれているが、登録数はどのような現状なのか。コロナ禍では、特に高齢者は外出の機会を減らしているため、ボランティアの数は減っていると思う。見方を変えれば、コロナの状況が変われば、学びを活かす活動を多いに引き出すチャンスだと考えている。</p>
科学館長	<p>科学館にはサイエンスボランティア旭川という科学館ができる前に発足したボランティア団体があり、現在も活動していただいている。登録者数は横ばいだが、あくまでも登録している人数であり、実際に活動しているのはもっと少ない。 コロナの影響で、以前は毎日のようにボランティアに来ていた高齢の方は外出を控えるために全く活動ができなくなった一方、このような状況だからこそ頑張ると活動してくれる方もいる。ボランティアは来場者と触れ合う機会があり、マスクをしていない方がいたなどの話を聞くこともある。来場者に声がけをするなどの対策を実施していきたい。(ボランティアの方々は大変貴重な存在である。)</p>
博物館長	<p>博物館ボランティアは、北海道退職校長会旭川支部の方で、人数は10～20人程度である。活動内容は、博物館の資料整理や調査、イベントでの指導などのお手伝いをしていただいている。丁寧に指導してくださり、大変ありがたく思っている。 ボランティアの人数は若干少なくなっているが、活動に御協力をいただいております。周りの先生にもお声がけいただいているので、引き続き御協力いただきたい。</p>
文化ホール担当課長	<p>大雪クリスタルホールについては後ほど書面で回答する。 (まちへの愛着や市民としての意識が高まるとともに、音楽文化を盛り上げるきっかけの1つとするため、平成8年11月に発足し、登録者数は47名。活動内容は主催者からの要請に応じて、チケットイクやクロークでの手荷物等の預かり、会場案内等の舞台裏方スタッフとして、接客サービスに従事していただいている。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動は中止となったが、令和3年3月に、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策についての講習と新規登録者に向けての研修会を実施した。)</p>
図書館長	<p>中央図書館のボランティアの登録者数は100名以上で、団体としては20以上が登録しており、読み聞かせの会や視覚障害者へのサービスを提供する会、布絵本を作る会などがあり、コロナ禍でも様々な活動をしていただいている。新規のボランティアには、講習受講後に団体に登録して活動していただいているが、予定通りに講習会が開催できず、また、受講人数も制限したため、新規登録者は少なかった。技術を高めるために開催している講習会は、回数を分けて開催した。絵本の読み聞かせは以前と場所を変え、人数を制限して実施している。 来場者にも協力していただきながら、今後もしっかりと感染対策を取って、講習会の開催や絵本の読み聞かせをボランティアと一緒に実施していきたいと考えている。</p>
文化振興課長	<p>文化振興課で所管している彫刻美術館と井上靖記念館について、彫刻美術館の彫刻サポーター隊は市民ボランティアで構成される団体で、買い物公園や橋の上など市内に多数ある野外彫刻を、年に6回、地域を分けて清掃していただいている。会員の中には長く務めている方もいる。清掃後に提出される活動実績報告では、彫刻の汚れている箇所や痛んでいる箇所などの報告もいただいております。こうした活動は旭川市として誇れるものであると考えている。また、ボランティアの会「みゅーず」には、彫刻美術館内にある喫茶コーナーや物販コーナーでお手伝いをしていただいているが、昨年はコロナの影響で喫茶コーナーを縮小したため、活躍する場面は少なかった。 井上靖記念館では、ナナカマドの会という団体が喫茶コーナーの運営や、井上靖作品を楽しむ催しを実施している。ボランティアの御協力で各種事業を実施できている状況である。</p>

議長	<p>ボランティアは学びを生かすことの入口みたいなもの。コロナ禍で活動は制限されるが、もっと活動したい人もいるはずである。コロナが収束したときがチャンスで、ボランティアに誘う作戦を考えておく必要があるし、コロナが長く続くのであれば、このような状況でも実施できるボランティアを考えていけば、目標に近づいていけると思う。</p> <p>シニア大学・百寿大学も同様で、以前、私は百寿大学の指導員をやっていたが、年々高齢化しているし、コロナ禍で活動が中止になっている。そんな中で高齢者の学ぶ意欲をどこまで維持できるのかという問題がある。学びの活動が再開されたときに、学びを喚起させる作戦を検討してもらいたい。シニア・百寿はコロナ禍の開催方法を考えていかないと、学ぶ人がいなくなるのが危惧される。</p> <p>ほかになれば、基本目標4について何かあるか。</p>
委員	<p>基本目標2の議題で言うべきだったのだが、「文化芸術に親しむ機会の充実」として、令和3年度以降の市の考えがあればお聞かせ願いたい。</p> <p>6月に医療的ケア児支援法が制定、9月から施行されるが、酸素吸入や人工呼吸器を必要とする子供は音が発生するので、コンサートに行くのが躊躇われる。先日開催したバリアフリーコンサートで、保護者から「生の音楽を聴く機会がない」といった意見があった。法律の施行に当たり、設備や文化芸術に親しむ機会の充実をどのように図っていくのか。令和3年度にそのような取組があってもよいのではと思ったので、意識を向けてくれたら嬉しく思う。少子化の中でも、そうした取組は求められると思う。</p>
議長	<p>要望ということでよろしいか？そのような取組はあるか？</p>
社会教育部長	<p>知識がまだ足りない状況だが、所管する施設でそういったことに対応していく必要があるので、情報収集をして対応を検討していきたい。</p>
議長	<p>ほかになれば、基本目標5「郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成」について質問等、発言願う。</p>
議長	<p>全体を通して質問等があるか。なければ、副議長から発言願う。</p>
副議長	<p>まず、この(点検評価の)原案について、様々な視点から評価されていると感じた。改製されると思うが、社会教育行政にありがちなことで、「課題」と表現されている部分は、本当に課題なのだろうかと聞いていた。様々な影響で利用者が減ったという事実でしかないが、それを課題と捉えるのか考えてもらいたい。新しい生活様式が求められている中、市民は試行錯誤しながら新しい学びのスタイルを作っている。様々な立場の私たちが社会教育委員として集められた理由は、様々な現場で学びを見ているからで、今後の方向性を決定するときに、私たちの声を参考にしてもらえたら社会教育委員としての意義がある。</p>
議長	<p>全体をまとめていただいたので、点検評価についての議論は終了とする。</p>

4 その他

(1) 地域学校協働活動について

議長	その他(1)について、事務局から説明願う。
事務局	(資料2に基づき説明)
議長	このことについて意見、質問はあるか。
委員	本校にもコミュニティスクールが導入され、地域と連携しながら進めているが、頂いた資料も参考にしながら進めていきたい。ぜひ、市内の学校で推進していただきたい。
議長	各モデル地域に社会教育士と社会教育主事をコーディネーターとして配置とあるが、市内には何名いるのか？
事務局	社会教育課に社会教育主事発令を受けているのが2名、社会教育士を持っているのが1名、任用資格を持っている者が1名、あと部内に2名主事資格を持っている者がいる。
議長	その人数がフル稼働するのか。
事務局	モデル地域が3つなので、各地域に1人ずつコーディネーターを配置して、3年間は活動していきたいと考えている。
議長	副議長はモデル地域の中学校区だが、いかがか。
副議長	学校から見ると、様々な取組を実施していただけるということで、アンテナを張りながら実施していきたいと考えている。地域協働活動は、社会教育の視点からの取組になるので、そこと学校運営協議会とをどうやって連携させるかがどの校区でも難しくなるだろう。学校だけに目を向けるのではなく、地域づくりの様々な施策と連携したい。学校でも、地域づくりへの取組に関心があるので、部局を超えて取り組めるとスムーズに進むのではないかと。 また、PTAにも様々な取組をしていただいているので、連携しながら進めていただきたい。
委員	小学校はどのように目指すのか？
事務局	中学校区で考えており、市としては、小中一貫教育をベースとしてコミュニティスクールを配置しているので、小学校も入っている。他部局との連携についても、まちづくり推進協議会や福祉、子育て関連の部局との連携やすみわけについても進めていきたい。
議長	大変な道のりだが、示してもらったとおり進めていただきたい。私が社会教育の現場にいたときに、学校支援地域本部事業というのがあって、教職員の負担が軽減されるとされたが、そんなことないと思い意見を述べたことがある。地域の教育力を生かそうと思えば思うほど、教員は真剣に関わらないといけな。そのときに、コーディネーターの存在が重要だと述べたが、なかなか進まず結局事業はなくなってしまった。あのときと比べると、今は地域の活力がなくなって、学校はしっかりと組織ではあるが、教職員のなり手がいないという時代を迎えている。学校という存在に危機的な状況が迫っているのではないかとも思ってしまう。学校のため、地域のため、何より子供たちのために、中核市として旭川市が実績を上げれば、ほかの地域にとっても希望を見いだすきっかけになると思う。事業が着実に進んでいくように期待している。

(2) 旭川市公民館の位置付けの見直しに関する進捗状況について

議長	その他(2)について、事務局から説明願う。
事務局	(資料3に基づき説明)
議長	見直しに関わる委員は、委員自体も勉強しながら進めている。毎回学びながら議論を進めているが、難しい。市民の意見も参考にしながら、社会教育委員としての回答を示せればと思う。

4 閉会